



福田 よしお 県政レポート



編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥二丁目 4-7

TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp

ホームページ・Facebook にも活動の様子がのせてあります。ぜひご覧ください！



愛知県議会 2月定例議会報告（2月20日～3月26日）



例年になく寒い冬が終わり、春爛漫から一気に初夏の陽気となりました。皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は福田よしおの活動に格別のご支援とご理解を賜り、心から感謝申し上げます。さて「新政あいち県議団」として初めての議会を迎え、平成30年愛知県2月定例議会において平成29年度補正予算、平成30年度当初予算(予算規模:一般会計2兆4,939億余円、特別会計・企業会計合わせて3兆9,943億余円)、条例の制定、改正など88件の議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決、同意しました。特にリニアインパクトを生かした「中京大都市圏づくり」医療・福祉の充実で「日本の健康長寿」、将来を見据え「人財力の強化」「女性の活躍促進」などをめざす予算が編成され、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2026年アジア競技大会、2027年リニア中央新幹線開業などを節目のターゲットとし、2019年に開業をめざす「愛知県国際展示場」をセントレア空港島に建設、大規模災害に備え耐震や河川工事など強靱化事業など各種施策が展開されます。本県政レポートでは私の本会議での議案質疑や振興環境委員会での質問などご報告させていただきます。

終わりに、これからも「災害に強い街づくり」をめざし引き続き地域の声を県政に反映するため、ご意見やご要望をお聞かせ頂きますよう心からお願い申し上げましてご挨拶といたします。

平針運転免許試験場は平成32年4月新庁舎業務開始



名古屋市天白区「平針運転免許試験場・運転者講習センター」は、平成29年10月に締結した事業契約に基づきPFI事業により実施設計及び建設工事を進めます。(債務負担行為91億3,500万円)

契約者 セイフティサポート株式会社 (大和リースグループが設立した特別目的会社)

事業範囲 新庁舎、発着場、車庫、技能試験コース及び駐車場の設計・建設工事(既設解体含む)

新施設の維持管理(15年間)

事業実施スケジュール

平成30年1月～

四輪・二輪技能試験コース、
二輪発着場、二輪車庫整備

平成30年11月～

新庁舎・四輪車庫の整備

平成32年4月～

新庁舎の供用開始



愛知県警察よりお知らせ

工事期間中、駐車場が使用できません。

公共交通機関をご利用ください。

注 パースは現時点でのイメージで、今後、変更される場合があります。



振興環境委員会「一般質問」



「2019年WRC世界ラリー選手権の日本開催招致等について」

質問要旨(福田よしお)

県として「2018年新城ラリー」はどう取り組むのか。また「2019年WRC世界ラリー選手権」の日本開催招致に係る経過と今後の予定について伺う。

答弁要旨(スポーツ振興課主幹)

2018年新城ラリーは11月2日金曜日から11月4日日曜日まで県営新城総合公園をメイン会場に開催される予定で、県として支援する予定の行事の詳細については現時点では未定だが、今年度実施した名古屋市内での新城ラリーパレードやモータースポーツフェア、名古屋モーターショー2017での新城ラリーPRイベントなど好評を得た行事もあることから、これまでの経緯を踏まえながら必要な行事の実施、支援を行っていく予定。とりわけ、新城ラリーは東三河、奥三河地域の振興につながる大変インパクトのある行事として定着してきたことから、これを生かし地元の関係者と知恵を絞りつつ、特産品や周辺の観光地などしっかりと情報発信して行きたい。



次にWRC世界ラリー選手権の日本招致については、今年1月11日にトヨタモータースポーツクラブ(TMSC)を始めとした招致関係者が知事を訪問し、2019年11月の愛知・岐阜におけるWRC開催について協力要請があった。その後、招致関係者が1月15日にJAF日本自動車連盟に対し、開催申請を行った。また地元に対しては、1月30日に招致関係者から愛知県・岐阜県及び両県の関係市町を対象に説明会が実施され開催計画の概要が示された。これによると名古屋市、岡崎市、豊田市、新城市、長久手市、設楽町及び岐阜県恵那市、中津川市が関係市町に位置付けられている。その後、招致関係者が関係市町を対象に3月6日から個別調整に入っており、詳細な開催計画、地元住民への対応等について説明や相談を行っている。県警に対しては、3月14日に招致関係者による説明会が開催され、具体的な相談が進められるものと考えている。今後、様々な調整が行われ、年末までには招致の可否が決定すると聞いている。県としてもWRCの開催が実現できるよう招致関係者を支援し、必要な協力を行ってまいりたい。

要望(福田よしお)

WRC世界ラリー選手権のギャラリーは50万人とも100万人とも言われている。2019年は中部国際空港島の愛知県国際展示場の完成時期でもあり、外国から空輸されて来るラリーカーを愛知県国際展示場に展示して、多くの県民始めラリーファンの皆様にご来場いただくことも考えて頂きたい。県として2019年WRC世界ラリー選手権日本開催に向け積極的に支援されるよう強く要望する。



振興環境委員会「一般質問」

「レッツ・エコアクションin AICHIについて」



質問要旨(福田よしお)

地球に優しい身近な環境活動を広める「レッツ・エコアクションin AICHI」の平成29年度の実績と平成30年度の事業計画について伺う。

答弁要旨(環境活動推進課主幹)

県民の環境意識の高まりをエコアクションの実践へとつなげていくため、平成29年度はレッツ・エコアクションin AICHI ～巻き起こせ！エコ旋風～と題して、ごみゼロ社会推進あいち県民大会と合わせて平成29年11月18日(土)、19日(日)の2日間、金山駅周辺のアスナル金山、金山総合駅連絡通路橋、金山総合駅南口で開催し、3万人弱の方に来場していただいた。ステージでは知事とフィギアスケーター・スポーツキャスターの浅田舞さん、同じくフィギアスケーターの小塚崇彦さんと環境部長によるトークショーや地元アイドルによる環境に関するクイズなどを行なった。



ブースでは家庭で余った食品を集めて活用するフードドライブ、NPO や事業者による工作教室やエコ活動の紹介などにより、体験しながら楽しく環境について学んでいただいた。また今年度、県が新たに実施している高校生環境学習推進事業「あいちの未来クリエイト部」に参加している高校生がステージで活動発表を行うとともに、ブースで環境を学ぶゲームなどを来場者に披露した。さらに実際のエコアクション体験として、環境戦隊ステレンジャーとの会場周辺の清掃活動に子どもを含む多くの方に参加していただいた。次に平成30年度は子供連れファミリー層など多くの県民の皆様にも足を運んでいただいて、エコアクションの大切さについてより深く学んでいただけるよう工夫しながら実施していきたい。



平成30年度愛知県一般会計予算 議案質疑



「中学校の部活動指導員配置事業と高等学校の部活動指導員配置モデル事業について」

質問要旨(福田よしお)

平成30年度予算に計上されている中学校の部活動指導員配置事業と高等学校の部活動指導員配置モデル事業について伺う。

答弁要旨(教育長)

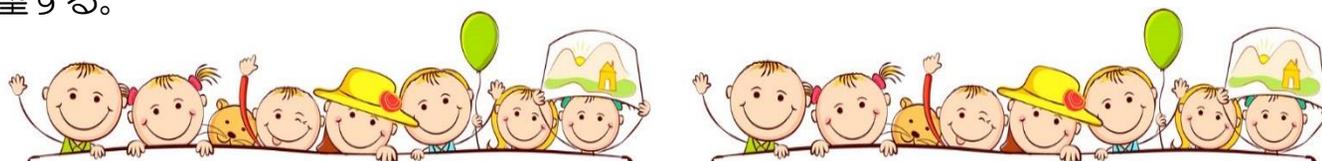
中学校の部活動指導員配置事業は、教員の多忙化が全国的に社会問題化し、その大きな要因の一つが部活動指導にあることを踏まえ、昨年4月の改正により学校教育法施行規則に新たに位置付けられた職である。これまで本県でも広く活用してきた外部指導者とは異なり、部活動顧問の教員の立会い等を要せず、単独で生徒への実技指導や大会等への引率が可能な職とされたので、その活用は教員の多忙化解消に資するものと考えている。そこで平成30年度から新たに中学校における部活動指導員の配置を促進するため、その配置に係る経費の一部を市町村に対し補助するもので、今後、地域の指導者の活用も含め中学校での部活動指導員の配置を進め、部活動指導に関わる教員の負担軽減と部活動指導体制の充実を図ってまいりたい。なお、部活動指導員の任用方法や身分等については、学校教育法施行規則により学校設置者が定めることとされており、部活動指導員を配置する市町村において適切に運用されるよう県としてもモデル例を示すなどの支援をしていく。



次に県立高校における部活動指導員配置モデル事業は、平成30年度から実施する事業で、部活動数が多い学校、教員数が少ない小規模校、在校時間の長い教員が多い学校など特性の異なる12校を選んで、各校に部活動指導員1名を2年間配置したいと考えている。このモデル事業は、部活動指導員が特定の部活動を指導するだけでなく、複数の部活動を横断的にサポートすることにより学校全体の部活動の管理運営の均質化と教員の負担の軽減に資することをねらいとしている。事業開始後は、教員の在校時間調査や教員・生徒を対象としたアンケート調査等により定期的の実績を把握し、その効果を検証してその検証結果を踏まえ、より効果的な部活動指導員の配置の在り方について今後さらに検討を進めてまいりたい。

要望(福田よしお)

今回の部活動指導員配置事業は、教員の多忙化解消として外部指導者を学校に配置する施策だが「すべては子供たちのために」指導体制の確立と地域のスポーツクラブとも十二分話し合いながら、社会人指導者や大学や実業団チームなどと連携して部活動指導員配置事業やモデル事業が円滑に導入されるとともに、やはりグラウンドや体育館など部活と同じように地域のクラブチームに施設を開放されることが特に重要と考える。県としてこのようなことを市町村に対し指導助言される内容を含んだ「愛知県における部活動のガイドライン」を策定されるよう強く要望する。



「被災者生活再建支援事業費補助金について」



質問要旨(福田よしお)

愛知県は平成30年4月1日から自然災害で10世帯未満の被害が発生した場合、被災者に国の支援制度に準じて県1/2、市町村1/2で最高300万円の支援金を支給する制度を創設するが、すべての市町村が制度化されていないと聞いている。このままでは支援金の支給に不均衡が生ずることとなるが、この解消に向けて県はどのように取り組んでいくのか。

答弁要旨(防災局長)

今回の補助制度の創設は、あらかじめ市町村に新制度のモデル案を示したうえで多くの市町村から賛同が得られたことから、尾張、西三河、東三河の3地域で説明会を開催し、さらに市町村防災担当課長会議での意見も参考に制度設計を進めてきたので、多くの市町村で早期の制度創設に向けて努力いただけるものと認識している。今回創設する制度は、被災者生活再建支援法の適用とならない災害により被災された方々が、県内のどこに居住していても同じ支援を受けられることが重要である。市町村での対応が異なる場合、居住する地域によって被災された方々への支援に格差が生じることから、できる限り早い時期にすべての市町村で制度を創設することが必要なので、早期の制度の創設に課題を抱えた市町村に対し個別に訪問するなど丁寧に説明を行うことにより、県内で不均衡が生じないよう制度の普及にしっかりと取り組んでいく。

福田よしおのひとこと

今回の定例議会では本会議で当初予算に対する議案質疑3件、委員会で一般質問2件、議案質疑3件と多くの課題に取り組むことができました。質問の全てが掲載できませんので、ぜひ、愛知県議会ホームページで議事録や中継動画をご覧ください、ご意見、ご指導、ご鞭撻を賜れば幸いです。



1/21 日進市学生書き初め展



1/24 東郷町老人クラブ
輪投げ大会



2/6 尾張東ブロック
老人クラブ大学講座



2/18 東郷町「第17回
白土コミセン祭り」



3/18 にっしんスポーツ
フェスタ

フリスケーター
鈴木明子さん



3/25 五色園自治会総会



3/26 新政あいち議会報告会

五月九日 日直 福田よしお



見てニャ〜



福田よしお公式WEBサイトは
こちらから

